

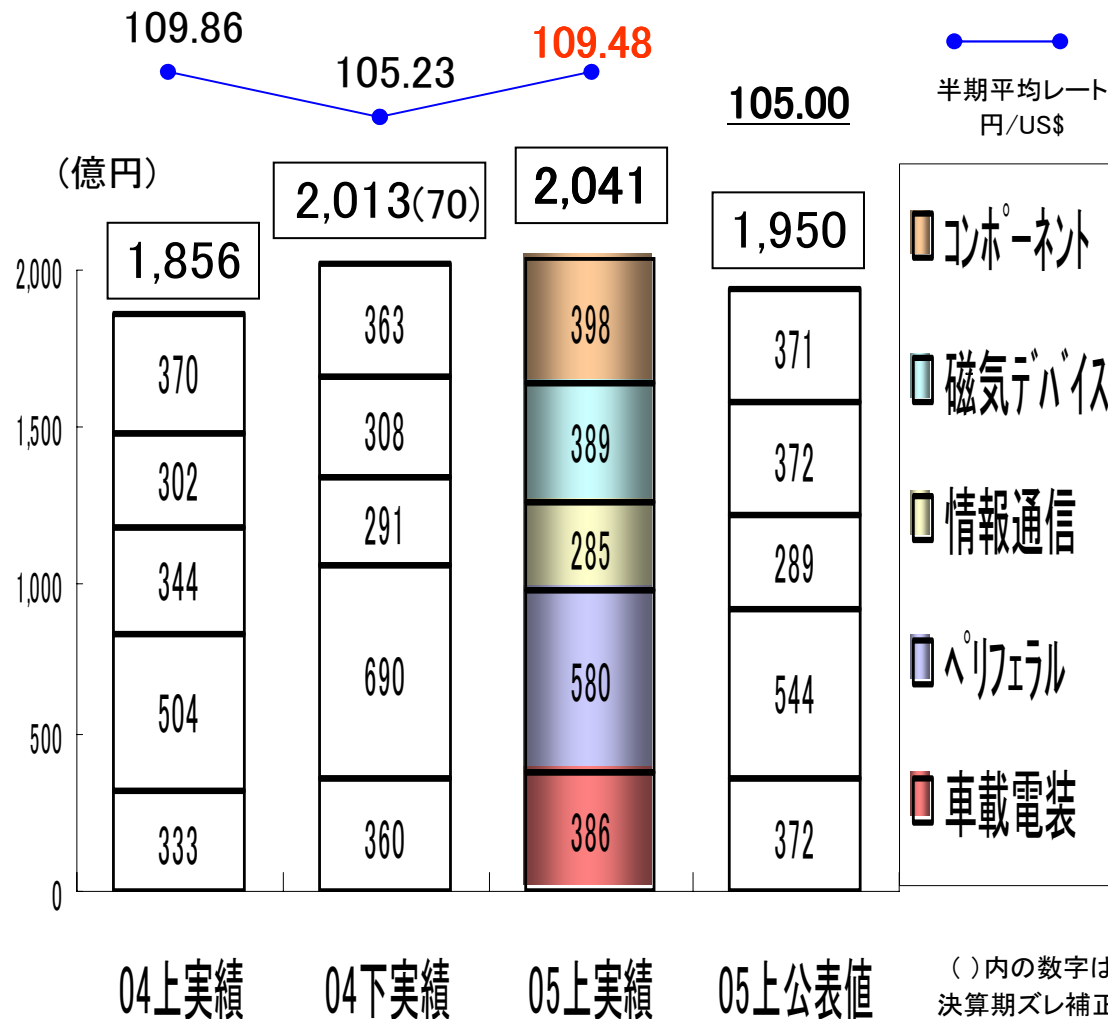
目次

2. 電子部品事業の概況

- 2005年9月中間期実績
- 当期の施策
- 事業別の概況
- 2006年3月通期予想

ALPS[®]

■ 2005年9月中間期 売上高の増減



前中間期比 +184億円

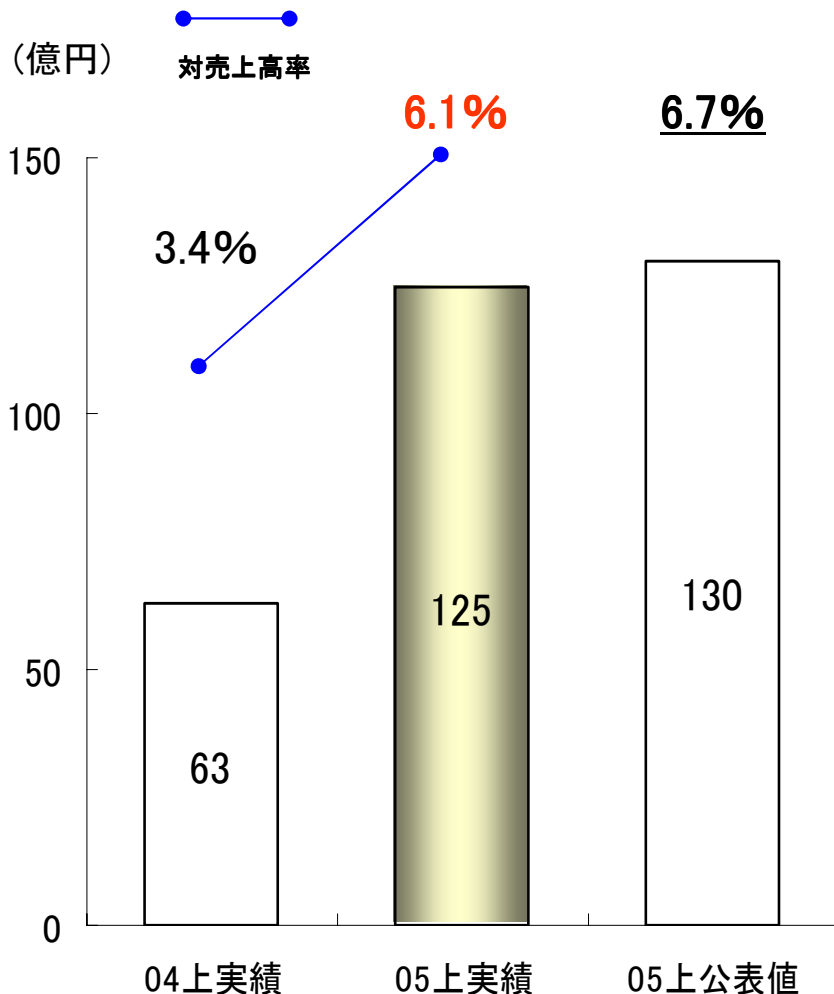
- ・磁気デバイス事業
HDD用ヘッドの増加 +86億円
- ・周辺機器事業
プリンタなどの増加 +75億円
- ・車載電装事業
キーレスエントリーなど増加 +53億円

公表値比 +91億円

- ・周辺機器事業
ゲーム機向けなど増加 +36億円
- ・コンポーネント事業
スイッチなど増加 +27億円

()内の数字は内数、決算期ズレ補正の影響

■ 2005年9月中間期 営業利益の増減



(注)連結消去前を表示

前中間期比 +62億円

- ・売上増に伴う利益の増加など +49億円
- ・退職金年金制度変更に伴う過去勤務債務償却益 +35億円
- ・たな卸在庫評価損(長期在庫など) Δ 22億円

公表値比 Δ 5億円

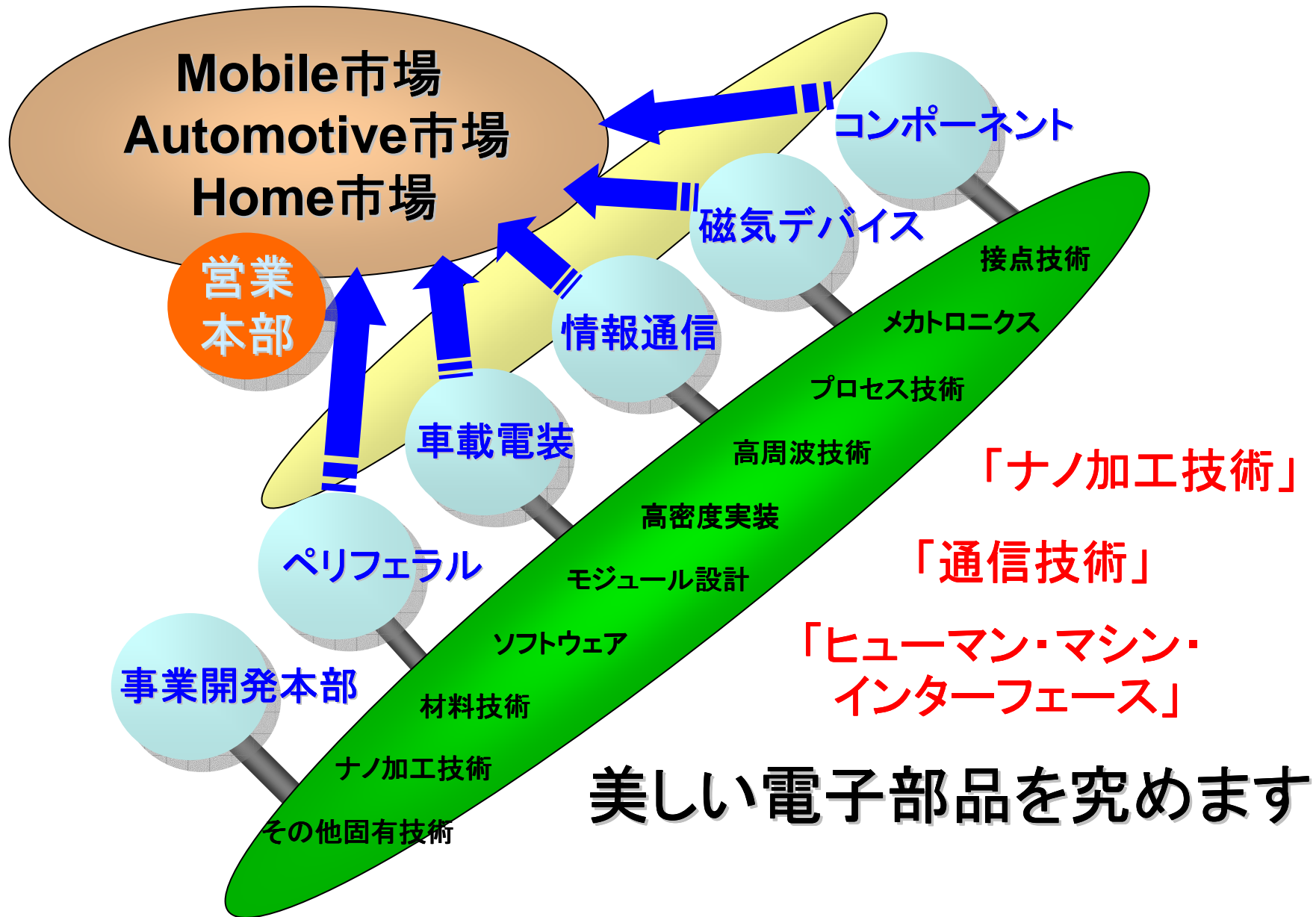
- ・たな卸在庫評価損(長期在庫など) Δ 22億円
- ・Delphi向け債権の貸倒繰入 Δ 5億円
- ・為替の影響など
- 米ドル高円安による増加他
(対米ドル:前提105円 \rightarrow 109.48円) +22億円

目次

2. 電子部品事業の概況

- 2005年9月中間期実績
- **当期の施策**
- 事業別の概況
- 2006年3月通期予想

ALPS[®]

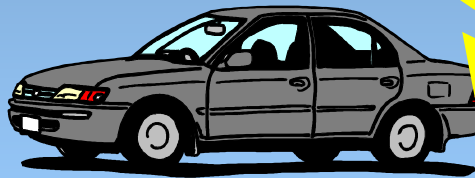


営業
本部

車載営業統括部

5事業

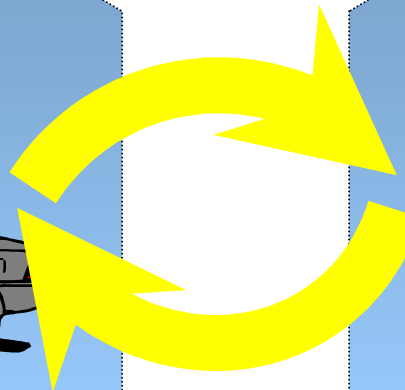
自動車メーカーが求める
新製品を創出



顧客



アルプス





当社の強み（営業と事業間の提携）



営業
本部

車載営業統括部

5事業

自動車メーカーが求める
新製品を創出

2006年3月期 車載市場向け
売上高 約1,150億円

顧客

アルプス

目次

2. 電子部品事業の概況

- 2005年9月中間期実績
- 当期の施策
- **事業別の概況**
- 2006年3月通期予想

ALPS[®]

■ コンポーネント事業

前期比

2006年3月期 売上高 776億円 (+6%)

施策：車載・携帯電話・ホーム市場の深耕

⇒ 快適なインターフェースを実現する製品の拡販



コネクタ端子付
検出スイッチ



mini SD™カード用
コネクタ(薄さ2.2mm)



防水タイプ
検出スイッチ

■ 磁気デバイス事業

前期比

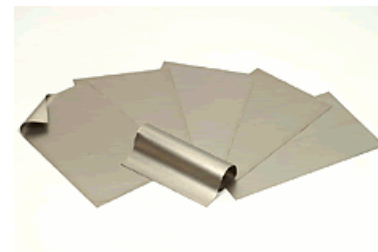
2006年3月期 売上高 745億円 (+22%)

施策：顧客との連携強化による製品開発

⇒ TMRヘッド、リカロイ™磁性シートの量産



HDD用ヘッド



無線タグ用など
リカロイ™磁性シート

■ 情報通信事業

前期比

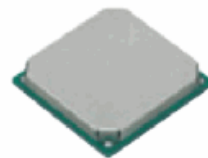
2006年3月期 売上高 600億円 (△ 6%)

施策：デジタル機器の通信・放送製品ニーズに対応

⇒ 地デジ放送TV、モバイル機器向け製品を拡販



地デジ/アナログ
両放送対応チューナ



Bluetooth™
モジュール



無線LAN
モジュール

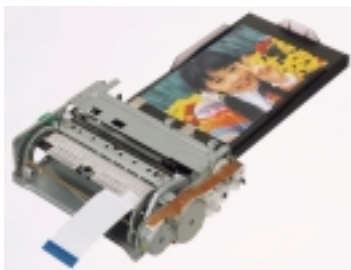
■ ペリフェラル事業

前期比

2006年3月期 売上高 1,100億円 (△8%)

施策: モバイル市場に最適な入出力機器の開発

⇒ デジカメ・携帯電話など操作・利便性向上に貢献



フォトプリンタ



反射カラーLCD
モジュール



フォースリアクタ™

■ 車載電装事業

前期比

2006年3月期 売上高 777億円 (+12%)

施策：車載市場向け事業のリーダーシップ推進

⇒ 進化するクルマに快適なHMI製品を提案



ハプティック コマンダ®



ステアリング
モジュール



パッシブエントリ
システム

目次

2. 電子部品セグメントの概況

- 2005年9月中間期実績
- 当期の施策
- 事業別の概況
- 2006年3月通期予想

ALPS[®]

【2005年11月8日現在】

■ 2006年3月通期業績見通し

公表値比

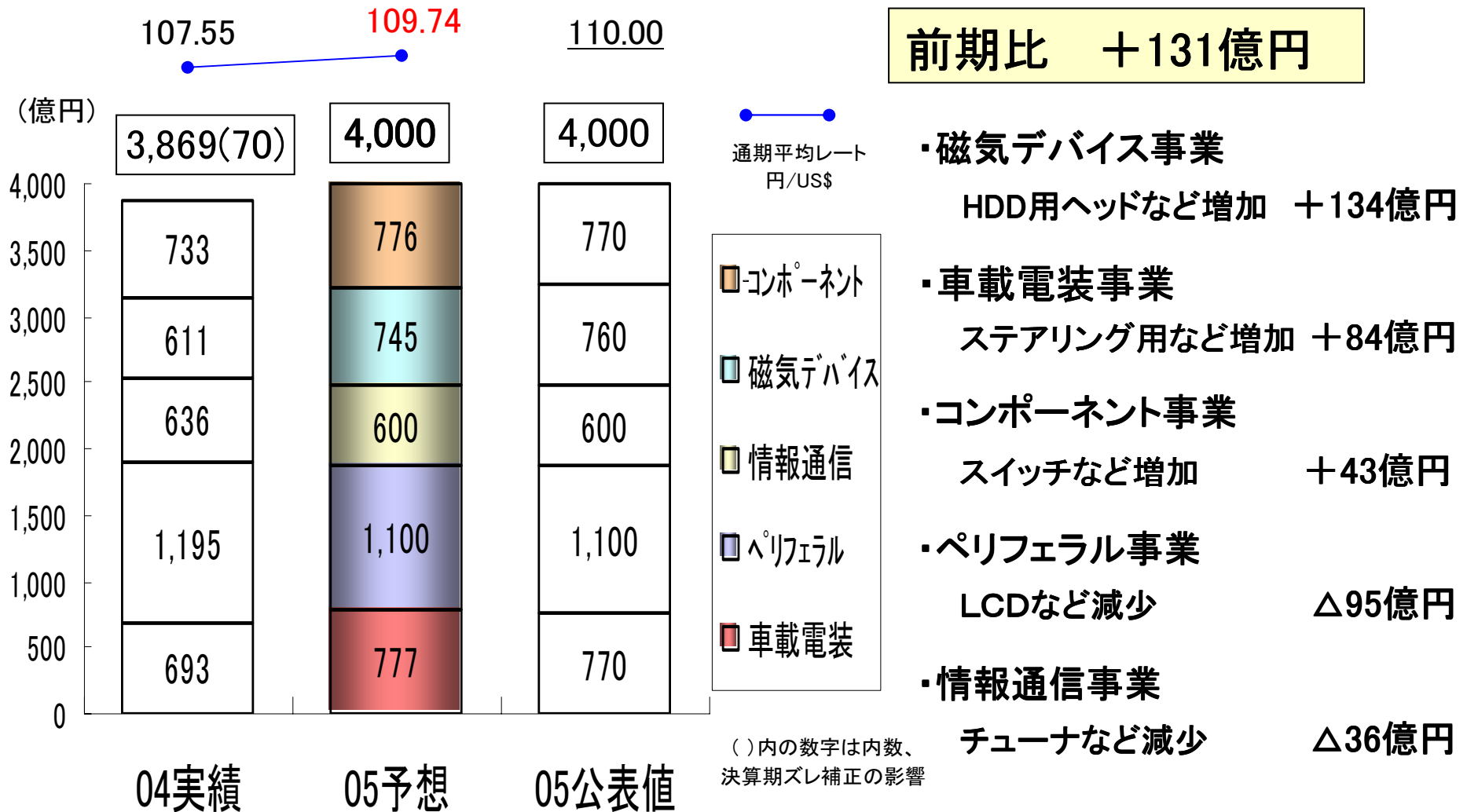
- 売上高 4,000億円 変更なし
- 営業利益(率) 260億円(6.5%) 変更なし

前提となる下期為替レート 110円/米ドル、135円/ユーロ

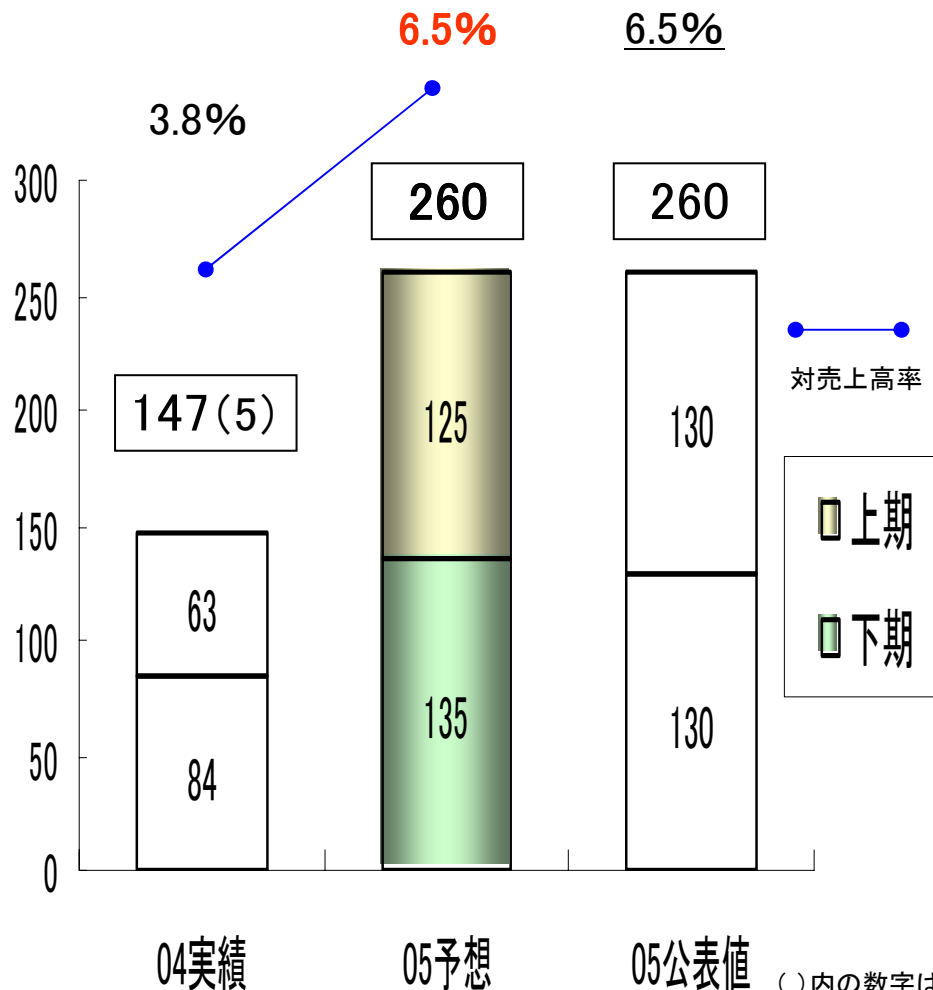
【今回見直し点】

- ・設備投資 : 375億円 (公表値比 +19億円)
- ・研究開発費: 185億円 (公表値比 +4億円)

■ 2006年3月通期 売上高の増減



2006年3月期通期 営業利益の増減



(注) 連結消去前で表示

()内の数字は内数、
決算期ズレ補正の影響

前期比 +113億円

主な増減の要因

- ・売上増による利益の増加など **+68億円**
- ・退職金年金制度移行による
売上原価・販管費の減少 **+59億円**
- ・研究開発費の減少 **+13億円**
- ・たな卸資産評価損の計上 **△ 22億円**
- ・Delphi向け債権貸倒繰入 **△ 5億円**

■ 株主への利益配分について

中間配当 1株につき10円を実施

(前中間配当 6円から 4円増配)

中間含む年間配当金予想 20円

(前期年間配当金 16円)

ALPS SHOW 2006


(予告)

日程：2006年5月下旬(3日間)

場所：新高輪プリンスホテル(飛天の間)

お客様ほか約8,000人のご招待者をお迎えして、アルプスの新たな技術・製品の方向性を提案





当スライドの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。よって、見通し・予想を算定するため過去に認識された事実以外に、見通し・予想を行うための仮定等を使用しています。これらの記述については、将来その通りに実現するという保証はありません。また、本資料は会計士監査対象外となっています。

なお、当社のハプティック関連デバイスは、Immersion CorporationのTouchSense™Technologyを使用しています。TouchSense™はImmersion Corporationの登録商標です。



ALPS®